

環境研究総合推進費令和7年度事後評価個票

研究課題番号	S2-9-2
研究課題名	地域資源・環境を活用した周辺地域の将来デザイン構築に関する研究
研究実施期間	2022(令和4)年度～2024(令和6)年度
研究代表機関名	農業・食品産業技術総合研究機構
研究代表者名	万福 裕造

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

復興の具体的なイメージをつくり、自然生態系と人間活動が調和した将来デザインを定量化すること、生態系サービスの解析を含め科学的根拠に基づく跡地利用デザインを明確にすることを目的とした。地域住民の想い、要望、意見等を反映したパターン・ランゲージ手法により地域実践知の構造化と知識の汎用化が可能となり、複数指標による統合的評価モデルに基づく4つの復興シナリオを構築したこと、住民参加型デザイン支援の理論化に至ったこと、自然環境が持つレジリエンス評価に基づく生態系の自己回復力の定量的実証を行ったことは社会的にも利用可能な研究素材の提供として評価された。しかしながら、上記モデルの設定、応用と具体的な地域展開が必ずしも十分でないこと、テーマ1で開発された技術を組み込んだ場合の住民反応の解析がやや抽象的であること、成果活用の具体的な道筋が見えにくいことなどの点で今後一層の水準向上が期待された。